

## 日本古典文学を読む

人文社会系国語教育・小助川元太

### 1. 授業の基本情報・概要

日本古典文学概説は、学校教員養成課程における国語教育の国文学分野の必修科目である。本授業では、日本古典文学史を「仮名の誕生と文学」「古典の再生」といった視点からそれぞれの時代やジャンルの文学を概観すると同時に、古文テキストの解釈と鑑賞を通して、教材分析の力を養い、ものの見方・考え方を広げる。今年度はすべて対面授業となった。詳細は以下のとおりである。

#### 【授業の目的】

日本古典文学史の概略を把握したうえで、代表的な作品を読解し、その特徴を理解する。

#### 【授業の目標】

1. 日本古典文学史の大きな流れを理解することができる。
2. 辞書を用いながら、古典文学を読むことができる。
3. 代表的な作品の特徴を説明することができる。

上記の目標・目的を達成するべく、以下のような授業と評価を行った。

#### 【授業の進め方】

1. スライドを用いて授業を行う。
2. 授業で扱った作品についてテーマを設け、グループディスカッションを行わせる。
3. Moodle のフォーラムでディスカッションの内容について再度意見交換をさせる。
4. Moodle で小テストを実施する。
5. 振り返りのレポートの提出。

#### 【実際の授業内容】

- 第1回：ガイダンス・『古事記』を読む。ディスカッション「国生み神話を読んで気になったことについて」
- 第2回：日本古典文学史の時代区分・『古事記』『日本書紀』『風土記』『万葉集』。ディスカッション「額田王の歌について」
- 第3回：『万葉集』。ディスカッション「山上憶良の歌について」
- 第4回：中古の文学・『古今和歌集』『仮名序』。ディスカッション「仮名序について」
- 第5回：作り物語と歌物語。ディスカッション「『伊勢物語』と『大和物語』を比較して」
- 第6回：日記文学『土佐日記』。ディスカッション「阿倍仲麻呂の和歌と紀貫之の和歌を比較して」
- 第7回：日記文学『蜻蛉日記』『紫式部日記』。ディスカッション「『紫式部日記』を読んで」
- 第8回：『枕草子』。ディスカッション「友だちにするなら…」
- 第9回：『源氏物語』。ディスカッション「あなたが男性だったら…」
- 第10回：歴史物語・『方丈記』・『徒然草』。ディスカッション「『徒然草』『公世の二位のせうとに』の主題について」
- 第11回：軍記物語『平家物語』。ディスカッション「与一が平家の武者を射殺したことについて」
- 第12回：軍記物語『太平記』。ディスカッション「塩冶判官の北の方の反応について」
- 第13回：『太平記』の享受と再生・近世の出版事業について。ディスカッション「楠木正成の生き方について」
- 第14回：俳諧と『おくのほそ道』。ディスカッション「『むざんやな』の句に込められた芭蕉の思いについて」
- 第15回：地方の古典文学『予章記』。ディスカッ

ション「河野通清誕生のエピソードについて」

### 【成績評価】

毎回のレポート（40%）、最終レポート（30%）、フォーラムへの参加（20%）、小テストの受検状況（10%）により、総合的に評価する。

## 2. 授業評価・授業研究の内容

授業評価については、最終授業の際に匿名のアンケートを行った。（受講生 53 名）  
質問項目は以下のとおりである。

1. 授業に真面目に取り組んでいましたか？
2. 授業内容は理解しやすかったですか？
3. 何が難しかったですか？
4. 授業で学んだ内容で、とくに興味を持ったところやおもしろかったところは？
5. 授業で学んだ内容で、あまり興味が持てなかったところは？
6. 4で選んだ授業内容のどのようなところに興味や面白さを感じましたか？
7. 5で選んだ授業内容に興味を持てなかったのはなぜですか？
8. 意見・要望・感想・メッセージなどがあれば、書いてください。

## 3. 授業評価結果（35名回答）

1. 授業に真面目に取り組んでいましたか？  
ア 真面目に取り組んだと思う。（19名）〈54%〉  
イ ときどき集中していなかったときもあった。（16名）〈46%〉  
ウ あまり真面目に取り組んでいたとはいえない。（0名）〈0%〉
2. 授業内容は理解しやすかったですか？  
ア 理解しやすかった。（28名）〈80%〉  
イ ふつうだった。（6名）〈17%〉  
ウ 難しかった。（1名）〈3%〉
3. 何が難しかったですか？

・古文の読み取りが難しかったです。誤読をしやすいなと思いました。

・歴史上の人物がたくさん出てくる話は、関係性を理解するのに時間がかかった。

・現代文を確認しなければ、古文を正確に読めず、学ばなければならないと思った。

・現代語訳。自分の想像以上に古典単語や文法を忘れてしまっていた。

・歴史的背景についての知識が少なかつたため理解するのに時間がかかった。

・昔と今の価値観の違いを理解すること。

## 4. 授業で学んだ内容で、とくに興味を持ったところやおもしろかったところは？

- |             |       |
|-------------|-------|
| ○古事記・日本書紀   | （9名）  |
| ○万葉仮名・万葉集   | （4名）  |
| ○古今和歌集仮名序   | （4名）  |
| ○伊勢物語と大和物語  | （13名） |
| ○土佐日記       | （9名）  |
| ○蜻蛉日記・紫式部日記 | （18名） |
| ○枕草子        | （11名） |
| ○源氏物語       | （18名） |
| ○方丈記・徒然草    | （5名）  |
| ○平家物語       | （10名） |
| ○太平記        | （8名）  |
| ○太平記・古活字版   | （3名）  |
| ○おくのほそ道     | （7名）  |
| ○予章記        | （10名） |
| ○とくになし      | （0名）  |
| ○その他        | （0名）  |

## 5. 授業で学んだ内容で、あまり興味が持てなかったところは？

- |             |      |
|-------------|------|
| ○古事記・日本書紀   | （2名） |
| ○万葉仮名・万葉集   | （1名） |
| ○古今和歌集仮名序   | （0名） |
| ○伊勢物語と大和物語  | （1名） |
| ○土佐日記       | （1名） |
| ○蜻蛉日記・紫式部日記 | （1名） |
| ○枕草子        | （0名） |
| ○源氏物語       | （1名） |
| ○方丈記・徒然草    | （4名） |

- 平家物語 (3名)
- 太平記 (4名)
- 太平記・古活字版 (2名)
- おくのほそ道 (6名)
- 予章記 (1名)
- とくになし (20名)
- その他 (0名)

6. 4で選んだ授業内容のどのようなところに興味や面白さを感じましたか？ (33名回答)

- ・現代の考えと共通する点があったり、大きく異なる点があったところ。
- ・今まで聞いたことのなかった作品の深みを知ることができたところ。
- ・自分が今まで小中高を通して学んできた人物の知らざる一面を見れたり、作品の知らなかった事実を目の当たりにしたから。
- ・高校で一度触れたことある文学を深掘りできたことや、関連のある作品を比べながら学べたこと。
- ・今までとは異なる視点で作品について考える機会があり、面白かった。
- ・講義を受ける中で古文は面白くないわけではなく、読むのに少し困難が生じるだけで今の意識と共通するところもあって内容は面白いと知ることができたところ
- ・同じ出来事についてであっても、その書かれている内容が異なっており、それを読み比べをすることで理解していくことができた点。
- ・高校までの知識では知らなかったことを知ることができた。同じことについて書かれたものを比較する活動では発見や考えられることがたくさんあり面白かった
- ・普段はしないような読解の仕方や視点が多かったため、面白いと感じた。討論するときに特にはかどったから。。

7. 5で選んだ授業内容に興味を持てなかったのはなぜですか？ (22名回答)

- ・全ての教材に興味を持てた
- ・俳句は元々読むのが苦手で、一般的な感じ

方と違う感性で読んでしまい、共感を得られないから。

- ・内容の解釈が難しかったから。
  - ・他のものと比べると考えることが難しかった。
  - ・好みのお話でなかった。
  - ・内容が端的でわかりにくかった所があった
  - ・現代語訳を読んでも内容をあまり理解することができなかつたため。
8. この授業についての意見・要望があれば、書いてください。(11名回答)
- ・今まで授業で取り上げた作品を歴史的概念でしか見る事が出来なかつたので、フォーラムで実際にどのように感じるのか共有できてよかつたと思う。
  - ・話し合いの時間で、自分なりの考えを共有することができ、面白い考えや解釈に出会うことができたことがよく、解釈の幅が広がりました。
  - ・古典文学を学び今に通じることや今では常識ではないことなどがありおもしろい講義でした
  - ・スライドを授業中も見ることができるようにしてほしいです。

### 3. 「授業時間外学習の促進」について

テキストや配布資料を読んでおくように指示した。

### 4. 総括

今回は15回すべて対面であったため、毎回のグループディスカッションが学生にとっては新鮮で良い学びになったという意見が多かつた。また、毎回授業の最初に、講師が面白いと思つたフォーラムやレポートでの学生の意見をいくつか紹介して、古文を読む際の留意点や文学作品を読む際のポイント、何かを論じる際の資料の用い方などについてコメントをしたりしたことにより、最終レポートでは、自分の意見を述べる際には本文の記述内容を根拠にすることや、現代人の視点では

なく作品が書かれた時代背景を考慮しながら解釈をすること、大学での研究の基本的な姿勢などが学べたという声が、多く見られた。

一方で、古文の解釈そのものへの苦手意識を持っている学生や、内容の解釈に難しさを感じている学生もいた。授業中に訳をさせる作業については、以前に比べるとかなり少なくなったものの、高校までの学習の中で古典文法や古典常識を身に付けていない学生も一定数いるのであろう。それとは別に、『おくのほそ道』における芭蕉の発句の解釈に関する課題に対して拒絶反応を起こした学生もいたようである。次年度はこの課題も含めて、全体的に学習課題を再検討したい。